

畜産ネットワーク ちば

2015年9月18日

第34号

発行所 公益社団法人千葉県畜産協会

〒260-0021

千葉市中央区新宿1-2-3

K&T千葉ビル3階

発行人 森 英介

酪農経営の基盤強化対策について

千葉県農林水産部 畜産課 課長 岡田 望



千葉県畜産協会の会員並びに畜産関係者の皆様には、日頃から本県畜産の振興に御尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

本県は全国でも有数の畜産県であり、平成25年畜産産出額は1,094億円と、豚で第3位、鶏卵で第2位、生乳で全国第5位を占めるなど、畜産全体で第6位の地位を維持しております。

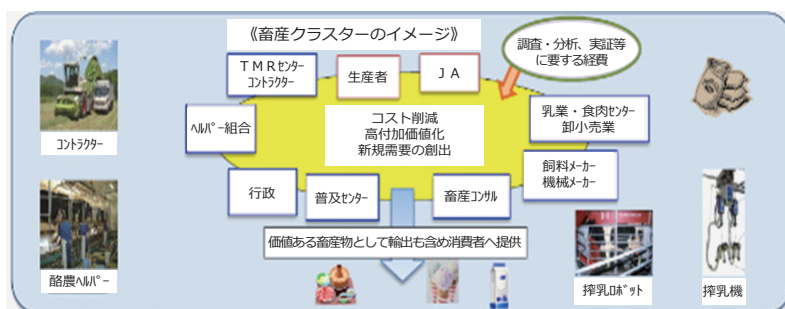
しかしながら、近年特に酪農経営において、飼料高騰やTPP交渉等の先行き不透明感から離農が進み、農家戸数、乳牛頭数、生乳生産量ともに減少の一途をたどっております。

そこで、本県では酪農経営の基盤強化を最重点項目と位置付けて、以下の施策を展開しています。

1 収益力向上のための経営構造の改善

地域ぐるみで中心となる経営体を支援する体制である畜産クラスターを構築し、その計画に位置付けられた畜産経営体に対して、ハード・ソフトの両面から支援することにより、畜産の生産基盤強化を図ります。

- (1) 高収益型畜産体制構築事業
(実証試験支援のソフト事業)
- (2) 畜産競争力強化対策整備事業
(畜舎整備等のハード事業)
- (3) 畜産収益力強化支援事業
(自給飼料調製機械等のリース事業)
- (4) 畜産・酪農生産力強化緊急対策事業
(受精卵等導入支援事業)



2 労働力削減のための酪農作業ヘルパー及び飼料生産調製請負組織の育成・強化

(1) 酪農経営構造改革促進事業（酪農ヘルパー支援）

千葉県の酪農は家族経営がほとんどで、作業従事者に何かあった場合のセーフティーネットとして、酪農ヘルパーは欠かせません。特に傷病が重篤で入院が長期にわたる場合は、これまでならば離農せざるを得ない場合も、ヘルパー利用によって経営存続が可能になった例が県内でも見られます。

そこで、傷病を理由として酪農ヘルパーを利用した場合、その利用料金の生産者負担分の一部を助成することで負担軽減を図り、酪農経営の存続を支援します。

(2) 飼料生産拡大整備支援事業（コントラクターの育成）

輸入飼料情勢に左右されない経営を目指すためには、自給飼料の生産拡大が必要ですが、酪農経営の現状から労働力を自給飼料生産に仕向けることが困難な状況にあります。（→次頁に続く）

目次

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------|
| 【1】酪農経営の基盤強化対策について | 【6】第9回千葉県畜産フェア |
| 【2】平成27年度定時総会開催 | 【7】平成27年度千葉県肉豚共進会について |
| 【3】平成27年度開始「家畜防疫互助事業」への加入について | チバザボーク便り |
| 平成27年度10月以降のオーエスキー病ワクチン接種について | 【8】NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信 |
| 【4】肉用子牛生産者補給金制度・肉用牛繁殖経営支援事業 | 【9】ちば畜産レディースネットワーク会報 |
| 肉用牛肥育経営安定特別対策（新マルキン）事業 | 【10】NPC通信（ナイスボークチバ推進協議会） |
| 肉用牛損害賠償請求 | 【12】ふれあい体験教室開催 |
| 【5】チバザビーフ協議会報 | 牛トレーサビリティ制度に係る届出等の適切な実施について |

そこで、年々増加する耕作放棄地を活用し、自給飼料生産に取り組む飼料作物生産集団やコントラクターに対して支援することにより、飼料生産の拡大を図ります。

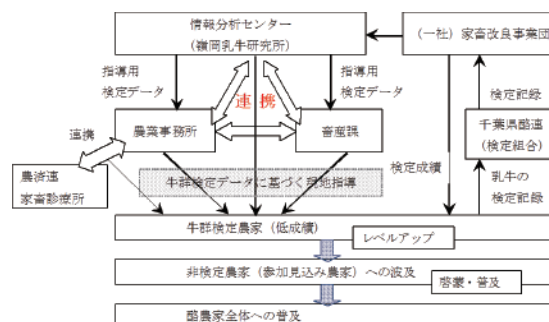


3 経営安定のための指導体制の強化

(1) 乳牛改良促進事業（牛群検定の加入推進）

酪農経営の安定化のためには、生乳の高品質化と乳量の増加が必要であり、乳牛の改良による生産性向上が欠かせません。乳牛の能力を十分に引き出し、生産性の向上を図るには、牛群検定の実施と検定データの積極的な活用が不可欠です。

そこで、牛群検定による乳牛の能力把握とともに技術レベルの向上により、乳牛の1頭当たりの収益性を向上させ、効率的な酪農経営を目指します。



(2) 畜産経営コンサルタント活動による飼養技術の改善指導

畜産農家の経営・生産技術の高度化や、新規就農者の育成・確保を図るため、専門的な知識を持つ公益社団法人千葉県畜産協会に一部を委託し、経営支援体制の確立、畜産経営指導の専門家による支援指導、畜産経営の高度化に必要な関係情報の提供を行います。

特に昨年度から4年間、酪農に限定し、個別支援・指導を重点的に実施します。

これからも、畜産農家と地域の畜産関係者が連携・結集したクラスターを構築しながら、地域の関連産業の活性化並びに酪農の高収益型経営の実現を目指してまいりますので、引き続き御理解と御協力をよろしくお願いします。

平成27年度 定時総会開催

平成27年6月22日、千葉市・プラザ菜の花において、当協会の平成27年度定時総会を開催し、平成26年度貸借対照表、損益計算書及び財産目録の承認についての他4議案について承認されました。

平成26年度は、年度当初より、PEDの発生、全県的な蔓延に晒され、発生農家延148戸、発生頭数約16万2千頭、死亡頭数約4万3千頭と甚大な被害を蒙りました。そのため、養豚関係者等の集会等がままならず、予定されていた総会・会議等の延期・中止、千葉県肉豚共進会等のイベントも中止を余儀なくされました。それに加え、消費税率のアップ、急激な円安による飼料や生産資材の高騰・高止まり状態、TPP交渉等国際間貿易の先行き不透明感等や周辺諸国における悪性伝染病の続発も重なり、畜産を取り巻く環境は大変厳しく、著しく畜産の経営基盤を圧迫しました。

なお、養豚関係者長年の念願でありました「養豚農業振興法」の制定、飼料用米や畜産クラスター関連事業等の各種畜産振興施策の推進など明るい兆しも垣間見られました。

このような状況の中、当協会は県民・消費者と畜産経営者、関係団体・行政機関等との密接な連携に努め、安全で信頼される県産畜産物が安定的に供給されますよう、畜産経営安定対策や家畜・畜産物の衛生対策、飼養管理や経営技術等生産性の向上、畜産及び畜産物への理解醸成・消費拡大事業等、様々な事業に取り組んでまいりました。

また、ナイスポークチバ推進協議会等の各種団体の事務局を務め、円滑な団体運営・事業推進に努めるとともに、新たに設立された団体につきましても、事務局を引き受けるなど積極的に関係各位の要請にこたえてまいりました。

なお、補助事業や委託事業等の減少のため協会運営が引き続き極めて厳しいことから、職員の削減及び給与削減の継続等協会運営経費の節減や事務の効率化に努めてまいります。

役員補欠選任の結果は、別表のとおりです。（総務課 武田）

《別表》役員補欠選任の結果（新規役員のみ）

役職名	氏名	所属団体・役職名等
副会長	石橋新四郎	千葉県酪農農業協同組合連合会（代表理事長）
専務理事	鈴木邦夫	学識経験
理事	野宮紀昭	農林中央金庫千葉支店千葉県JAバンク運営委員会（議長）
理事	岡田 望	千葉県農林水産部畜産課（課長）
理事	塩澤英一	ナイス・ポーク・チバ推進協議会（会長）
代表監事	能城 勝	千葉県農業協同組合中央会（専務理事）

平成27年度開始「家畜防疫互助事業」への加入状況について

家畜防疫互助事業は、畜産経営に甚大な影響を及ぼす海外悪性伝染病（口蹄疫、牛肺疫、牛痘、豚コレラ、アフリカ豚コレラの5疾病）の発生に備え、牛及び豚飼養農家自らが積立を行い、万一発生した場合、発生農場が経営再開までに必要な経費等へ、国（独）農畜産業振興機構の補助を加え互助金を交付し、畜産経営の維持・継続を支援する事業です。

平成27年度は新事業期間（平成27年度～29年度までの3年間）の開始年度となります。（専務理事 鈴木）

《平成27年度の加入状況（千葉県）》

牛			豚		
戸数	頭数	積立金額	戸数	頭数	積立金額
640戸 (749戸)	63,840頭 (68,098頭)	9,781,210円 (12,765,480円)	175戸 (199戸)	566,731頭 (567,833頭)	23,672,270円 (32,507,080円)

注）（ ）内は、旧事業期間の状況

◆生産者積立金の返戻額（平成24年度～26年度）について

事業参加者に実際に返還される金額は、積立金総額の1/2を農畜産業振興機構へ返還後、各事業参加者の積立金を按分比例方式（返戻計算の原則）により算定されています。このため、積立金の1/2を加入者へ返還するとしていますが、この計算上、偶数、奇数積立者ともに端数が出る場合があります。

《平成24年度～26年度の返戻金計算方法》

畜種	牛	豚	《計算方法》 返戻率（D）を算出 → C÷A（小数点第10位四捨入） 返戻額は → B×D（小数第1位を切捨て）
積立金総額（A）	669,076,330円	459,750,200円	
返戻額総額（B）	334,538,165円	229,875,100円	
積立金額（C）	〇〇〇円	△△△円	

平成27年10月以降のオーエスキー病ワクチン接種について

千葉県では平成20年度からオーエスキー病の清浄化対策について、新たな地域ぐるみで、ワクチンの全戸全頭接種及び、各清浄段階での効率的な清浄度確認検査等を柱とした防疫対策を実施することにより、清浄化を推進してきました。

本病の防疫対策も終盤を迎え、国では平成27年度家畜生産農場清浄化支援対策事業によるワクチン接種を今年度9月に中止することとしていましたが、昨年度からのPEDの蔓延等により、県内の清浄化達成には今一步の状況にあります。そこで、今後のオーエスキー病の清浄化の推進について、国と県との協議の結果、以下の対応により、オーエスキー病ワクチンの接種を平成28年3月末日まで継続することとなりました。

【年度内の重点取組事項】

陽性豚が存在する旭市及び香取市はワクチンを徹底接種

陽性地域周辺についても、県内に陽性豚が存在することから接種票によるワクチン接種を継続

清浄性確認検査の実施

年度内に繁殖豚抗体陽性豚のとう汰を完了

瞳は未来を見つめてる。



動物 未来 みつめる ひろがる



動物用医薬品 製造販売

日本全薬工業株式会社
福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

肉用子牛生産者補給金制度・肉用牛繁殖経営支援事業

平成27年7月からの個体登録に係る肉用子牛に適用する負担金の額について、下記のとおり改定されましたので、ご案内いたします。また、指定肉用子牛の平均売買価格が高いため、生産者補給金及び繁殖経営支援交付金について発動のない状況が続いておりますが、肉用子牛個体登録申込、販売及び保留等の報告については登録・報告漏れのないようお願いいたします。（生産課 飯沼）

◆肉用子牛1頭当たりの負担金の額

（単価：円／頭）

生産者負担金の額	品種区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
平成27年6月まで（旧単価）		550	2,975	6,100	3,175	1,250
平成27年7月以降（新単価）		300	1,150	3,100	1,600	600

肉用牛肥育経営安定特別対策（新マルキン）事業

毎月払いが継続して実施されており、引き続き販売報告の漏れがないようお願いいたします。（企画課 小倉）

◆肥育牛補填金単価について【平成27年4～6月期】

（単価：円／頭）

区 分	4月			5月			6月		
	肉専用種	交雑種	乳用種	肉専用種	交雑種	乳用種	肉専用種	交雑種	乳用種
粗収益 (A)	1,090,396	722,376	414,594	1,083,564	747,009	423,189	1,074,544	722,775	430,181
生産コスト (B)	971,845	693,878	450,600	977,182	706,784	454,073	988,540	736,088	446,402
差額 (C) = (A) - (B)	118,551	28,498	△36,006	106,382	40,225	△30,884	86,004	△13,313	△16,221
補填金単価 (C) × 0.8	-	-	28,800	-	-	24,700	-	10,600	12,900

※100円未満切り捨て

肉用牛損害賠償請求

千葉県肉用牛損害賠償請求生産者会会長 山崎 巖

◆検体採取重量分の賠償請求について

平成27年5月19日付けで肉牛放射性物質検査（平成27年3月までの分）に関する確認書を取り交わし平成24年8月1日～平成27年3月31日にと畜（販売）された牛の検体採取重量分の肉代を賠償請求することが決まりました。請求にあたり必要事項の調査を行い、様式を作成したため時間がかかりましたが、平成27年7月31日千葉県森林会館において窓口団体等に対して説明会を開催したところです。

ついては、下記のとおり請求いたしますので、窓口団体の指示に従って書類の作成・提出をお願いいたします。様式は各窓口団体より入手してください。現在のところ、県が国に対して四半期毎に報告する検査計画が参考になり対象期間が延長されています。

区分	期間	提出日	様式
通常請求（第18次）	平成27年7月～平成27年9月	平成27年10月30日（金）	A票
検体代（第1回）	平成24年8月～平成26年9月	平成27年12月28日（月）	B表
検体代（第2回）	平成26年10月～平成27年6月	平成28年3月31日（木）	B表

※1 説明会開催時点で平成27年9月までの請求も可能です。

※2 第18次請求から新様式（A票）により請求することとなります。

また、平成27年9月3日付けで第17次請求を行いましたので、併せてお知らせいたします。（事務局 武田）

区分		請求対象期間	補償金額	請求者数	最終支払日
確定済	第 13 次	平成 26 年 4 月～6 月	7,850 千円	66 名 (164 名)	平成 26 年 10 月 28 日
	第 14 次	平成 26 年 7 月～9 月	7,533 千円	76 名 (164 名)	平成 27 年 1 月 19 日
	第 15 次	平成 26 年 10 月～12 月	10,347 千円	80 名 (164 名)	平成 27 年 6 月 5 日
	第 16 次	平成 27 年 1 月～3 月	6,780 千円	62 名 (164 名)	平成 27 年 8 月 11 日

区分		請求対象期間	請求金額	請求者数	請求日
請求中	第 17 次	平成 27 年 4 月～6 月	7,447 千円	68 名 (164 名)	平成 27 年 9 月 3 日



チバザビーフ協議会報

チバザビーフ協議会は千葉県産の「うまい牛肉」のPR活動を行っています。



◆第4回チバザビーフ枝肉研究会（H27.7.1）

東京食肉市場(株)において枝肉研究会が下記のとおり開催されました。

【出品頭数】

【入賞者】

黒毛和種 26 頭	区分	最優秀賞	優秀賞	優良賞
交雑種 34 頭	和牛の部	江口幸太郎（富里市）	遠藤芳宏（香取市）	土佐英樹（銚子市）
計 60 頭	交雑の部	塙 正一（銚子市）	小池幸廣（銚子市）	齋藤茂樹（佐倉市）

【今後の枝肉研究会及び共励会の開催日程】

第 5 回チバザビーフ枝肉研究会（平成 27 年 11 月 11 日、出品予定頭数：60 頭）

第 5 回チバザビーフ枝肉共励会及び前夜祭（平成 28 年 2 月 22～23 日、出品予定頭数：80 頭）

◆平成27年度通常総会及び研修会（H27.7.16）



【講師】JA全農畜産生産部
澤 明 先生

成田ビューホテルにおいて、通常総会が開催され、千葉県、食肉関係者、生産者等併せて102名の出席をいただき、平成26年度事業報告等全3議案が上程され、いずれも原案通り可決承認されました。

また、JA全農畜産生産部 澤 明 先生をお招きし、「高品質枝肉生産のための飼養管理技術」と題し、ご講演いただきました。これからの肉牛生産のために何をすべきか、分かりやすく丁寧な説明に参加した生産者は聞き入っていました。

◆千葉県議会自民党畜産振興議員連盟及び千葉県農林水産部へ訪問（H27.8.4）

先に開催された平成27年度通常総会開催に係るお礼と、来年、平成28年に開催される『東京食肉市場まつり2016』の参加に向けた協力をお願いを兼ねて千葉県議会自民党畜産振興議員連盟及び千葉県農林水産部へ挨拶にうかがいました。



自由民主党千葉県支部連合会にて



千葉県農林水産部長室にて

◆東京食肉市場まつり2016千葉県実行委員会発足（H27.9.16）

千葉市ビジネス支援センター（きぼーる）において、協賛県として千葉県（チバザビーフ）が参加する東京食肉市場まつり2016の千葉県実行委員会が発足され、会長にチバザビーフ協議会 山崎会長、副会長に千葉県農林水産部 飯田流通販売担当部長が任命されました。

◆県産牛肉消費拡大イベント活動報告

各種イベントに参加・協力し、県産牛肉の知名度向上を図っています。



☆チーバくぐグルメ博覧会

日時：平成27年8月7日～12日 場所：そごう千葉店

出展：ステーキ石井（株）石井大商店 協力：全国畜産農業協同組合連合会、チバザビーフ協議会

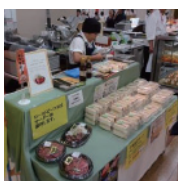
概要：かずさ和牛を使用したステーキ丼、ローストビーフ丼の販売。

☆千葉市親子三代夏祭り

日時：平成27年8月15日・16日 場所：千葉市中央公園

出展：ちば未来夢、七輪焼肉『超力』 協力：千葉県、チバザビーフ協議会

概要：チバザビーフを使ったのりブコースステーキ販売。



☆京成沿線美味しい博覧会

日時：平成27年9月3日～9日 場所：西武船橋店

出展：ステーキ石井（株）石井大商店 協力：全国畜産農業協同組合連合会、チバザビーフ協議会

概要：かずさ和牛を使用したステーキ丼、ローストビーフ丼の販売。

事務局

公益社団法人千葉県畜産協会 総務・企画部 企画課（担当：小倉）

TEL:043-242-6333 FAX:043-238-1255

第9回千葉県畜産フェア

10月24日(土)は船橋競馬場へ!!

入場無料 10:30~15:00

会場／船橋競馬場

電車 京成「船橋競馬場駅」下車 徒歩5分
J R「南船橋駅」下車 徒歩10分
車 花輪I.C.から車で1分/駐車場有
(840台・当日無料)



畜産物・農産物の販売

豚・牛焼肉、豚しゃぶ、串焼、牛乳・乳製品、卵・厚焼玉子、スイーツ、はちみつなど千葉県内でとれた農畜水産物の販売。

畜産フェア大抽選会

畜産フェア内のお店でお買い上げ毎にもらえる抽選券もしくはスタンプラリーチャレンジで豪華畜産品等が当たるチャンス!!

※販売や抽選など、時間内に終了・売切の際はご容赦ください。

同時開催

ふれあい広場

騎手サイン会、乗馬体験、はしご車体験など。



ダートランニングフェスタ

普段は人が入ることができない船橋競馬場のダートコースを走ります。参加チームへ副賞として県畜産物が贈呈されます。



主催

(公社)千葉県畜産協会
千葉県畜産物消費拡大推進協議会
千葉県畜産フェア実行委員会

後援

千葉県
船橋市

協賛

千葉県酪農農業協同組合連合会
全国農業協同組合連合会千葉県本部
千葉県農業共済組合連合会
ナイスポークチバ推進協議会
千葉県食肉事業協同組合連合会
千葉県肉牛生産農業協同組合
J A 東日本くみあい飼料(株)
千葉北部酪農農業協同組合
房総ポーク販売促進協議会
千葉県全日本畜産経営者協会
(一社)千葉県配合飼料価格安定基金協会
NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター
千葉県家畜商協同組合
(株)千葉県食肉公社
千葉県養蜂協会
(一社)千葉県農業協会
千葉県酪農農業協同組合
キリンビバレッジ(株)
(公社)千葉県獣医師会
千葉県卵業協会
(株)シェフミートチグサ
千葉県牛乳普及協会
若潮牛振興協議会
千葉県肉牛肥育研究会
食育ネット(株)
船橋市畜産協会
船橋市漁業協同組合
チバザビーフ協議会
千葉県食肉消費対策協議会
堀江ファーム
林SPF
奈良養鶏
卵の花牛

お問合せ先

千葉県競馬組合

船橋市若松1-2-1

TEL: 047-431-2156

(公社)千葉県畜産協会 千葉市中央区新宿1-2-3

TEL: 043-242-5417

平成27年度千葉県肉豚共進会について

昨年度は、千葉県内で発生したPEDの影響により中止いたしました肉豚共進会について、本年度は下記のとおり開催いたします。なお、10月8日（木）、10時30分より『ジャッジングコンテスト』といたしまして、来場していただいた生産者を対象に、1類2頭組の最終審査に残った11点の中から優良な枝肉1点を選んでいただき、最優秀賞を的中させた方に景品を贈呈します。



平成25年度名誉賞 内山 利之氏（多古町）出品

皆様のご来場をお待ちしております。（生産課 金杉）

◎日程 平成27年10月6日（火）～8日（木）

10月6日（火） 搬入

10月7日（水） 審査

10月8日（木） 展示講評（11時～）、褒賞授与式（13時30分～）

◎会場 （株）千葉県食肉公社（旭市鎌数）

◎出品 220頭（予定）



チバザポーク便り

チバザポーク販売推進協議会

船橋競馬場での冠レースにおいて試食会等イベントを実施中！

チバザポークの知名度向上の取組として、船橋競馬場のレースにチバザポーク販売推進協議会会員の銘柄名をレース名に付するシリーズ競走として、年間を通じて実施しています。

主な取組内容としては、①レース名として宣伝（レースの名称を、勝馬投票券、全国各投票所で配布される出走表、オッズモニター、パドックビジョン、大型モニター等に掲載。）、②横断幕による宣伝（横断幕をパドックに設置し、大型ビジョンやオッズモニターに映像を写す。）、③試食・販売による宣伝（銘柄豚の試食・販売を行い、ナイター競馬での、仕事帰りのサラリーマン等若年層へPR。）を行います。

銘柄ごとの取組みは以下のとおりです。（事務局 金杉）

林SPF



期日：平成27年8月3日（月）17:00～18:30

入場者数：2,916名

概要：『レース名称及び横断幕の設置・試食販売による宣伝』

しゃぶしゃぶの試食販売と、ソーセージの販売を実施しました。

しゃぶしゃぶは先着100名に無料で提供。

試食提供終了後は1皿100円で販売、ソーセージは2本500円で販売しました。

試食については無料ということもあり、行列が出来るほど盛況でした。

販売も短時間であったものの、しゃぶしゃぶが84皿を販売、ソーセージは用意した150本が完売となりました。



元気豚



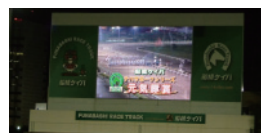
期日：平成27年9月10日（木）17:00～20:00

概要：『レース名称及び試食販売による宣伝』

じゃんぼ焼売（250円）やチャーシュー（500円）など加工品の販売を実施。

チャーシューは、先着100名に無料配布しました。

あいにくの天気であった為、客足は悪かったものの評判は良く、試食いただいた多くのお客から『美味しい』という意見をいただきました。



わたしたち森久保薬品は
人と動物の「これから」を真剣に考えています。



森久保薬品株式会社

<http://www.morikubo.co.jp>



NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信

1. 平成27年度通常総会及び第1回畜産研修会の開催

平成27年度通常総会が5月29日（金）、午後1時30分より千葉市中央区「千葉市生涯学習センター（メディアエッグ）」に於いて会員総数75名のうち、本人出席24名、委任状35名、来賓8名の出席を得て、開催されました。

高梨副理事長の進行により、松田理事長挨拶、来賓として千葉県農林水産部畜産課岡田課長、公益社団法人千葉県畜産協会新城専務理事の祝辞をいただいた後、理事長を議長に選任し、すべての議案は原案通り承認可決されました。今年度はNPO法人としての活動を開始してから9年目になります。TPP問題や円安、飼料高等不透明な状況も多いことから、各種の情報を収集すると共に畜産振興に向け行政・団体・業界等からの畜産に係る公募事業や調査及び研究の受託に努めます。

また、実施に当たっては専門部会や希望会員による活動を積極的に推進します。このため、公益社団法人千葉県畜産協会の指導の下、農場HACCP構築や国の飼養衛生管理強化対策等の事業推進を充実し、家畜飼養、衛生環境等の指導力向上に努めるとともに畜産経営の向上等に向けて、支援・推進します。

また、県や関係機関等が取組んでいる、発酵TMRの調査研究や6次産業化の普及推進に積極的な支援をするほか、生産者と消費者、学校等との交流事業を実施し、消費者への畜産理解と消費の拡大を推進し、児童生徒を対象に家畜と触れあう情操教育の場を提供します。

総会終了後は、畜産研修会として演題1「千葉県における畜産振興対策」（講師：千葉県農林水産部畜産課企画経営室主幹島田純氏）、演題2「TPPとわが国の農畜産物を巡る諸情勢について（和の経済の視点から）」（講師：札幌大学客員教授三野耕治氏）をお招きして開催しました。（出席者34名）

世界情勢、日本及び千葉県が置かれている状況がよく理解でき、大変わかり易い有意義な研修会でした。

2. 役員会

6月25日（木）、午後2時より畜産協会会議室において千葉県農林水産部畜産課島田主幹、新任された畜産協会鈴木新専務をお招きし、27年度事業計画、新規事業、各部活動計画、会員加入促進等について協議しました。

（1）平成27年度事業

今年度は各部会が中心となって企画・立案し、畜産農家や畜産協会等の関係団体への支援や各種事業を積極的に取り組む。また、ホームページの充実を図るとともに会員の加入促進、寄付のお願い等により広く活動を広げ県内畜産の振興に寄与していくこととなりました。

（2）新規事業

- ①ちば農商工連携事業支援基金助成事業：伊能会員を中心に農商工連携事業展開サポート事業を実施
- ②平成27年度死亡牛の受入及び保管等補助業務：取組むこととして、事務局、会員4名で実施中
- ③外部資金獲得戦略構想（仮称）委員会の設置：針生相談役のレポート報告を受け、高梨・唐仁原副理事長、米倉企画、新城生産振興、計良衛生環境部長・染井副部長等で委員会を設置し取組む。

（3）各部会長等の決定及び活動

専門部会	企画部会	米倉部会長 高梨・唐仁原 副部会長	外部資金獲得戦略構想委員会を設置、飼料米等をテーマに検討。（委員会の設置、研修会、6次産業化）
	生産振興部会	新城部会長 染井副部会長	外部資金獲得戦略構想委員会に参画、畜産振興を図るうえで必要となる幅広い支援活動に取組む。（畜産振興支援活動、栽培利用等）
	衛生環境部会	計良部会長 花澤・山下 副部会長	今年度も引き続き畜産協会の要請に基づきHACCPの構築を支援。 現在、主に指導現場で活動している指導員は、計良、唐仁原、見学、渡辺、三宅、樋口、加藤、新城、朝日、山下、島田、薫田等12名で、認証25農場（酪農2、養豚20、採卵鶏3）の支援に取組む計画。農場HACCP指導員になり農家の支援に取組みたい方は是非事務局へご連絡下さい。（家畜衛生・HACCP・環境対策等）
	調査研究部会	高梨部会長 桐岡副部会長 針生相談役	外部資金獲得戦略構想委員会の参画及び畜産協会のエコフィードやTMR等の関係事業に協力し、現地調査等に積極的に参加。野生獣衛生体制整備緊急対策事業についても畜産協会の要請があれば積極的に支援していくこととなりました。（技術開発・調査研究等）

(4) 会員の加入促進

畜産に関係する機関や関係団体等の退職者等に勧誘して、より多くの賛同者を募る。

また、会員・役員一人一人が知人や賛同いただける方に声をかけていただき会員増を図るとともに、情報の共有化を図っていく所存です。

◆農場HACCP研修会の開催案内

	日時・場所	内 容
第1回	平成27年9月24日(木) 午前10時30分から 東庄ふれあいセンター	(1) 演題1 農場HACCP認証制度について(40分) 講師 中村 成幸 (2) 演題2 農場HACCP構築の実務について(40分) 講師 計良 伸行 (3) 実習(180分) 生産者・指導員による演習
第2回	11月下旬・千葉市内	詳細未定

◎これからも、色々な情報を提供して行きたいと思います。皆様方の御意見・御支援・御協力をお願いします。

【お問い合わせ】NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター事務局
(公社)千葉県畜産協会内)

TEL: 043-241-1738 FAX: 043-238-1255

正会員 80 (内、団体11)
賛助会員 2 (団体)



ちば畜産レディースネットワーク会報 通算第17号



モ〜モ〜フ〜フ〜コケッコ〜



千葉県内の畜産に携わる女性のみなさんの会報です。



活動記録

1 総会・薔薇の宴・情報交換会の開催

平成27年5月20日(水)に、昨年と同じく東金市にあるエストーレホテルにて盛大に開催されました。

【総会】

会員15名、来賓含め28名の出席のもと、上程された4議案はいずれも可決承認されました。役員の改選があり、新役員の方も加わりました。若い方も増え、より一層視野が広がり、これからの活動についての意見も増え、より一層活発なネットワークになるのではないのでしょうか。



新役員のみなさん



総会後の記念撮影

【薔薇の宴】

新生酪農さんの牛乳で乾杯をし、それを合図に薔薇の宴がはじまりました。豪華なホテルの料理に加え、堀江ファームのハムと柴ちゃんの台所の肉団子もテーブルに並び、充実した宴となりました。



薔薇の宴の料理



CowMixのおふたり

【情報交換会】

今年度の総会時の情報交換会のオープニングは、CowMixさんのパフォーマンスから始まりました。2曲披露していただき、おふたりの話もうかがい楽しい時間となりました。その後は毎年恒例の参加者全員スピーチを行い、みなさんいろんなことにチャレンジしたり、努力されていて、パワーが漲っていらっしゃいました。

2 農山漁村いきいき研修会への参加

平成27年7月16日(木)に、千葉県教育会館で行われた農山漁村いきいき研修会へ参加いたしました。「子供が作る弁当の日」提唱者として有名な竹下和男先生の講演が、とても感動的で自分たちの日頃のことを見直させられるような身に染みる講演で、あっという間に時間が過ぎてしまったとの声が多く、大好評でした。

3 事務局担当の新城さんの退職に係る送別会

平成27年9月1日(火)に、今年度の6月22日をもって退職された新城さんの送別会を、太陽の里九十九里で行いました。会員含め10名の参加があり、みなさん新城さんへ感謝の意を伝えておりました。

活動予定

◆千葉県畜産フェアへの参加

平成27年10月24日(土)、船橋競馬場にて開催される千葉県畜産フェアに今年も出展いたします。「ミルクくずもち」の実演、配布を行いますので会員の皆様のご参加をお願いいたします。(事務局 長嶋)



N P C 通 信



1 堀江光洋氏（養豚業）春の叙勲・黄綬褒章受章（2015. 5. 15）



政府は4月28日付で春の褒章受章者を発表し、農業・畜産業での業務精励の功績として、公益社団法人千葉県畜産協会副会長でもあり、ナイスポークチバ推進協議会顧問である富里市：堀江 光洋氏（73歳）が黄綬褒章を受章された。

堀江氏は親の代から始まった庭先養豚を継承。時代を先取りした先進的な取り組みで、優れた養豚経営の手本を示すとともに、養豚や畜産関係の県や全国の団体役員として振興に尽くしてきた。

特に種豚の改良増殖に力を入れ、40年以上も千葉県が造成する系統豚の種豚を肉豚生産者に供給。豚肉の加工・販売、エコフィードの利用など「千葉の美味しい豚肉をもっと多くの人に知ってほしい」と生産に打ち込み、飼育の手間がかかり「幻の豚」となっていた中ヨークシャー種の復活に尽力し、良質なうま味の脂肪が輝く「ダイヤモンドポーク」として定着。銘柄豚への取り組み、農場を子供や消費者に開放する活動など力を入れた。

褒章伝達式は、農水省7階講堂において、林農林水産大臣出席の下、国歌斉唱、褒章伝達、褒章着用、祝辞と式次第により執り行われた。褒章伝達は、農水大臣が受章者の方々の席まで伺い、直接受章者に章記及び配偶者に褒章を伝達し、大臣からお祝いの挨拶をいただき式を閉じた。ご夫妻は、午後用意されたバスで皇居に向かい皇居「豊明殿」において天皇陛下に拝謁を賜り感激されたと感想を話された。

2 イースタン・リーグ船橋市で県産豚肉消費拡大（2015. 5. 17）

プロ野球イースタン・リーグの千葉ロッテ対横浜DeNA戦が船橋市運動公園野球場で開催された。船橋市内でプロ野球の公式戦が行われるのは初めてであることから、千葉ロッテは市内の少年野球やソフトボールチームの選手など小中学生を招待。多くの市民や野球少年ら2,526名がスタンドを埋め、一流のプレーを満喫した。

ナイスポークチバ推進協議会では、千葉ロッテマリーンズからの要請を受け、千葉県産豚肉のPRのため出店。午後1時からの試合開始前の約2時間、千葉県産豚肉PRとして情報提供のための掲示用パネルを設置。アンケート調査をお願いした。また、焼肉用の豚肉を50kg用意。子供達には無料で提供した。

試合開始前に豚肉プレゼントのセレモニーが球場ホーム付近で行われ、場内に千葉県産・ナイスポークのPRが放送される中、平野会長、高橋（守）副会長からそれぞれ千葉県産豚肉プレゼントパネルが両監督へ贈られた。球場内内野スタンドが満員となり外野スタンドも開放し、訪れたロッテファンや市内の野球少年らが、大きな声援を送っていた。



3 平成27年度通常総会開催、新役員によりスタート（2015. 6. 4）

平成27年度通常総会は、千葉市内のホテルにおいて開催された。平野会長は挨拶の中で、大きな衝撃を与えた豚流行性下痢（PED）は、消毒の徹底、ワクチン接種など、生産者・関係機関一体となった努力により沈静化に向かっている事、そして環太平洋経済連携協定（TPP）を巡る日本と米国の関税協議、差額関税制度の堅持をより強く訴えていく事を強調。「養豚農業振興法」の基本方針が決定し、将来にわたり安定した経営が持続できるよう、その内容によりしっかりと運動を継続していくことが大切である旨、述べた。



また、役員改選他予定された全議案が承認され、塩澤新会長から「3期6年間、平野会長の下で、会長代理として勤めてまいりました。難問山積の養豚業界、皆様のご指導、ご支援、ご協力を頂き、協議会の役割を果たせるよう頑張っております。」と挨拶があった。

記念の講演は作家・ジャーナリストで活躍の青沼 陽一郎先生から「TPPで日本を襲う米国産豚肉の正体」と題し講演、終了後出席者による懇親会が開催され情報交換を図った。

《新役員一覧》

会長	塩澤 英一（富里市）
会長代理	岩岡 喜久男（旭市）
副会長	北見 則弘（市原市）
	松ヶ谷 裕（旭市）
	藤崎 博道（山武市）
	菅井 伸（旭市）
	飯田 裕一（成田市）
理事	石毛 章俊（東庄町）
	中川 光男（富里市）

理事	穴澤 誠（多古町）
	名古屋 実（香取市）
	清水 慎吾（東庄町）
	宝理 雅人（東庄町）
	宇恵野 政博（銚子市）
	渡辺 栄樹（旭市）
	向後 隆輝（旭市）
	日下 義康（旭市）
	石毛 秀治（旭市）

理事	北田 守（山武市）
	海保 佳司（横芝光町）
監事	青柳 耕一（香取市）
	伊藤 忠（旭市）
顧問	堀江 光洋（富里市）
	島田 栄雄（旭市）
	平野 拓歩（旭市）

4 (一社) 日本養豚協会通常総会開催 (2015. 6. 16)

東京千代田区所在のホテルグランドパレスにおいて盛大開催された。

自民党養豚議員懇話会幹事長 宮腰 光寛衆議院議員、農林水産省 松島 浩道生産局長からお祝いの挨拶があった。

議案では、平成27年度会費の徴収に関する件では、繁殖母豚1頭250円(50円の値上げ)・肉豚1頭12円50銭(2円50銭値上げ)が承認され、予定された全議案は承認された。



また、富山県の養豚生産者からTPP交渉の新聞報道に対する疑問・不信感について提案された。提案理由として、豚肉が重要5品目に指定され国会で従来通り国境措置を維持すると決議され、当然豚肉の差額関税制度は維持されると思っていたが、最近の報道ではこの制度の従量税部分を50円まで下げるとの情報が流れている。

そのような状況になれば我々は養豚を続けて行くことは出来ず、全国の生産者で国会決議を遵守してもらうよう決議し要請をしたいと緊急動議が出された。

会場からこの動議を賛同する意見が出され、従量税50円報道が如何に生産者にとって過酷な事態を招くか、関税撤廃と同様と強調した。松村副会長から決議文(案)が読み上げられ全員賛成で承認された。

懇親会では自民党養豚議員懇話会の先生方及び農水省担当官との意見交換により、生産者の生産現場を踏まえた国際交渉、疾病、環境、後継者、豚肉の輸出などさまざまな問題で意見を交わした。



5 新役員による理事会開催・・・活動スタート (2015. 7. 15)

平成27年度通常総会において新役員が承認され最初の理事会をJA富里市にて開催した。



会議には、役員及び顧問25名中19名の出席により27年度事業計画に関する具体的な活動、①会員加入推進、②政策要請活動の内容、③県産豚肉の消費拡大推進、④講習会・研修会の開催、⑤養豚振興ウロジェクト委員会、⑥青年部の活動、⑦衛生対策の強化と情報の提供、⑧養豚経営安定対策事業、⑨活動報告会の開催、⑩着ぐるみの新規作成等について協議を行った。

6 TPP交渉から我が国の養豚を守る決起大会 (2015. 7. 23)



東京・永田町参議院議員会館講堂において「TPP交渉から我が国の養豚を守る決起大会」が開催され、7月28日からのハワイで始まるTPP閣僚会議前に全国の養豚生産者・関係者200名が参加し決意表明を行った。千葉県からは生産者35名、関係者8名、計43名が参加した。

志澤 JPPA 会長から「会場にお集まりの皆さんは今の状況を理解されていると思う。豚肉は、10年後従量税部分が50円になり、従価税の部分は0%になると取沙汰されているが、本当にそうならば我々の生産は次の世代に繋ぐ事ができない。生産者の声をしっかりとぶつけて欲しい。」と挨拶。会場には2本のスローガンが掲げられた。

豚肉関税大幅削減の報は到底容認できない! 国会決議の断固堅持を強く求める!!

日本の食卓から国産豚肉を消さない為に豚肉自給率60%に向けて頑張ろう!!

会場には自民党養豚議員懇話会をはじめとする衆・参国會議員29名が時間を割いて駆けつけ、「国会決議である重要5品目を何としても死守しなければならない。」と強い応援メッセージを頂いた。

これを受け各ブロック代表によるTPPに対するメッセージを行い、生産者の窮状を訴えるとともに、生産者の結束力の重要性を訴えた。

また、「最近のマスコミ報道に関して」と題し、JPPA 松村副会長から情勢報告と決議文を読み上げこれを採択。

志澤会長からは今回養豚単独の決起集会が盛会に開催できたことへの御礼と、この交渉のより良い成果を得るため今後も会員の協力を強く求めた。

最後に阿部 JPPA 副会長のガンバロー三唱で新たな決意を持って会を閉じた。



事務局

公益社団法人千葉県畜産協会 事業部 (担当:加藤)
TEL:043-241-3851 FAX:043-238-1255

★ふれあい体験教室開催★

平成27年9月13日、千葉県立花の丘公園（印西市）にて、消費者に畜産の生産現場や果たしている役割、県産畜産物に対する理解促進を図るため、（株）シェフミートチグサのご協力のもと、第6回となる親子手作りウィンナー教室を開催しました。

体験教室へは14組29名の参加があり、悪戦苦闘としながらも美味しく出来上がったウィンナーに大変満足しているようでした。

室外では、千葉県農業協会の出展による千葉県産豚肉を使ったしゃぶしゃぶやフランクフルトの販売が行われ、体験教室と併せて千葉県産畜産物を消費者にPRする場となりました。（総務課 榎屋）



牛トレーサビリティ制度に係る届出等の適切な実施について

「牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法」（牛トレーサビリティ法）は、BSEのまん延防止措置の的確な実施を図るため、牛を個体識別番号により一元管理するとともに、生産から流通・消費の各段階において個体識別番号を正確に伝達することにより、消費者に対して個体識別情報の提供を促進しています。

しかしながら、平成26年11月及び平成27年7月に、牛の管理者（2件とも酪農経営農家）が子牛の生育状況を良く見せる目的等で出生日を事実より遅らせて届け出していた事案が判明し、同法に基づいて届け出を修正するよう改善の催告がされております。

このような事案が起こったことは、同制度に対する消費者や関係者の信頼を揺るがすものです。

ついては、「食の安心・安全」のための第一歩は、「法令順守」であることを改めて認識していただきたく周知いたします。（企画課 小倉）

【九州農政局 プレスリリース（抜粋）】

（平成26年11月18日）

熊本県内の牛の管理者（熊本県八代郡、酪農経営）に対して牛トレーサビリティ法に基づく立入検査を実施した結果、同法に基づく出生の届出義務違反を確認。

平成15年12月1日（法施行日）から平成26年10月7日にかけて出生した牛861頭のうち、541頭について、事実と異なる出生日（実際の出生日から1日から50日遅らせた日）を出生の年月日として届け出していた。

（平成27年7月31日）

熊本県内の牛の管理者（熊本県山鹿市、酪農経営）に対して牛トレーサビリティ法に基づく立入検査を実施した結果、同法に基づく出生の届出義務違反を確認。

平成15年12月1日（牛トレーサビリティ法施行日）から平成27年1月8日までの間に出生した牛871頭のうち、596頭（平成18年7月22日から平成26年7月21日までの間に出生）について、実際の出生日から、1日から最大39日まで遅らせた日を出生日として届け出していた。

「食の安全・安心」のための第1歩は、「法令遵守」であることを改めて認識してください。

【地方競馬全国協会からのご案内】



「地方競馬の馬主になりたい!」という方は地方競馬全国協会までご連絡ください。

地方競馬の馬主登録制度についてご案内しております。

問い合わせ先：審査部登録課 TEL：03-3583-2142 URL（<http://www.keiba.go.jp/>）

地方競馬の収益金は畜産の振興に役立っています。

部 署		TEL	FAX
総務・企画部	総 務 課	043-242-5417（代）	043-238-1255
	企 画 課	043-242-6333	
事 業 部	経営・環境課	043-241-1738	
	衛生指導課	043-241-1738	
	生 産 課	043-241-3851	
Eメール：info@chiba.lin.gr.jp		URL http://chiba.lin.gr.jp	